



## 只見剣道スポーツ少年団 団体戦優勝！ 個人戦も好成績!!

6月13日に行われた南会津郡スポーツ少年団剣道大会で、只見スポーツ少年団が見事団体戦で優勝しました。また、翌日の6月14日に行われた第32回櫻木旗争奪少年剣道大会では、個人戦で新國太陽君が優勝、馬場菊さんが第3位と好成績を残しました。

団体戦で優勝した只見スポーツ少年団は、8月2日に郡山市で開催される県大会に出場します。県大会でも好成績を残せるよう皆さん頑張ってください！



▲優勝を記念して一枚！

◀週3回只見小学校の体育館で練習に励んでいます

## 只見湖岸をマイペースで走る 第27回只見湖岸 健康マラソン大会

6月14日、第27回只見湖岸健康マラソン大会が行われ、小学生から大人まで約90名が参加しました。大会は昨年同様2キロ、4キロ、8キロのコースが用意され、参加者は只見の新緑の中をそれぞれ一生懸命に走り気持ちの良い汗をかいていたようでした。



▲スタートする親子ペアの部

## ふざわの思い出を1冊の写真集に 思い出の写真集 出版記念式典

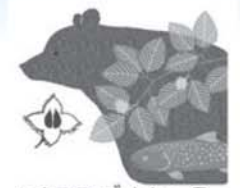
「ふざわ楽しさと元気づくりのみんなの会」が、町の「自ら考え自ら実践するまちづくり事業」を活用して出版した「思い出の写真集」出版記念式典が6月6日に布沢集会施設で行われました。写真集には以前あった分校の様子や、行事の様子などの貴重な写真が掲載されており、ふざわの思い出を後世に残す貴重な1冊になっています。



▲完成した写真集を手に記念撮影



## 只見町の地面を感じる！ ブナセンター講座と自然観察会



只見町ブナセンター

6月20・21日の2日間で、地質に関するブナセンター講座と自然観察会を行いました。地質学と火山学が専門の山元孝広先生(産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門)を招き、只見の地質について解説していただきました。

### 6月20日(土) 「奥会津の地質にみる日本列島の成り立ち」

講座には26名が参加され、県外からもたくさんの方が来られていました。只見を代表する景観の1つの雪食地形は日本海形成時代にできた窪地にたまった堆積層が削られてできたそうです。また、奥会津にも阿蘇山のようなカルデラがあります。それは塔のへつりや奥鬼怒です。このことから奥会津でも大規模な火山噴火があったことがわかります。その他には、産

総研が公開しているウェブデータベースの地質Naviの使い方も教えていただきました。地質Naviでは地質だけではなく活断層や火山、その土地の自然放射線量なども調べられますので、気になった方はパソコンで自分の地域の地質・岩石について調べてみるものいいかもしれませんね。

### 6月21日(日) 「只見の地質を観察しよう」

地質の観察会には、12名の方に参加いただきました。天候が少し心配でしたが、何とか崩れる前には観察会を無事行うことができました。町内の4ヵ所を周り、各場所の地質の特徴や成り立ちについて解説をしていただきました。

まずは叶津の只見川と叶津川の合流地点で、只見町が湖の底にあった時代に堆積した地質や氷河期に作られた河岸段丘かかんだんきゅうを観察しました。河原での堆積した

地質の観察の際には、その当時に埋没した樹木の化石を見ることもできました。その後、塩ノ岐のジュラ紀の地質や恵みの森(大倉沢)にて川底の岩盤の観察を行いました。普段何気なくみている岩肌や川底を、専門家の解説を通して観察することで、只見町の地質の秘密やその古い成り立ちを感じる事ができた観察会となりました。



▲地質の形成年を説明される山元先生



▲河原での堆積した地質の観察